

数日間、実際に天気を観察して、気象情報とくらべよう。

(東京書籍「新しい理科 5上」p7)

数日間、天気の様子を観測したり気象情報を調べたりしながら、結果を記録するとともに、天気の変化の規則性に気づかせ、先の天気を予想することができる。

「観察」に入る前に

「天気の変化のきまり」の指導ポイント

雲の動きに合わせて、天気も変化していること。

- ・ 雲におおわれているところ 天気が悪い(雨、くもり)
 - ・ 雲におおわれていないところ 天気がよい(晴れ)
- 雲は、おおよそ西から東へ移動していること

日本付近の雲は、偏西風によっておおよそ西から東へ運ばれる。

教科書(P4~5)の「気象衛星の雲写真」をみて、次のことに気づかせる。

雲が移動する方向
雲が移動するスピード
雲が4日かけて横切っていること

1日目：中国大陸

2日目：朝鮮半島

3日目：西日本

4日目：東日本

「天気の見分け方」について

全天に対する雲の割合で判断する。

快晴

- ・ 全天に対し、雲の量が0~1のとき 晴れ
- ・ 全天に対し、雲の量が2~8のとき くもり
- ・ 全天に対し、雲の量が9~10のとき



教える内容が多いけれど、確実に指導しましょう。

「気温のはかり方」の指導ポイント

温度計に、日光が直接当たらないようにして、はかる。

建物からはなれた風通しのよいところで、はかる。
温度計を、地面から1.2m~1.5mの高さにして、はかる。

百葉箱を使用してもよいが、「技能」の定着を図るためにも、必ず体験させたい。

児童に指導しておきたい「デジタルカメラ」の操作

撮影のしかた

画像の保存のしかた

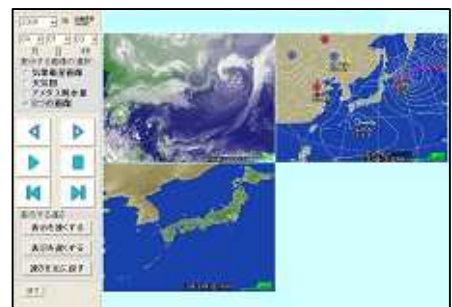
印刷のしかた

参考ソフト

岩手県立総合教育センターで作成した、右のようなソフトを活用してもよい。再生ボタンを押すと、6時間ごとの天気の変化が確認できる。雲の動きと天気が変わっていく様子がわかりやすい。

<連絡先>

joho-r@center.iwate-ed.jp



【気象衛星画像，天気図，アメダス降水量画像データ表示ソフト】

(左：CD、右：PC画面 画像提供 「(財)日本気象協会」)

観察手順

<用意するもの(グループ)>

温度計、デジタルカメラ、コンピュータ、プリンター

その日の天気の様子をデジタルカメラで撮影する。「日時」と「天気」のほか、「気温」と「気づいたこと」も記録する。

気象庁のホームページから、撮影した日時と同じ雲写真を印刷し、記録用紙に貼り付ける。

とをもとに(2日目以降は前日までのデータも参考にして)、次の日の天気を予想する。

留意点

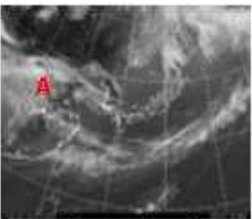
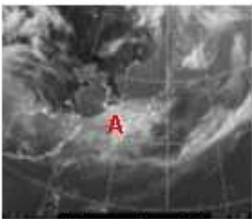
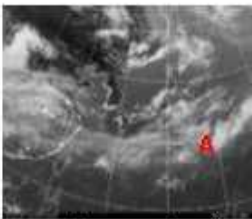



「気象衛星の雲写真」の扱いについて

「気象衛星の雲写真」は、約1時間後に気象庁のホームページで確認できる。児童に画像を準備させてもよいが、PC操作に関する実態に応じて弾力的に扱う。「観察した日時の雲写真」の、記録用紙サイズにあわせたものを教師が準備して、児童に配布してもよい。

<指導のポイント>

雲写真から、岩手の天気は、「1日前の朝鮮半島の天気と、だいたい同じ」ということに気づかせること、児童にとって予想が立てやすい。

「天気の観察」記録用紙

	4月26日	4月27日	4月28日
雲写真	 26日 12時30分	 27日 12時00分	 28日 12時30分
デジタルカメラで写した空の様子	 東 南 晴れ 12時30分	 東 南 くもり 12時00分	 東 南 晴れ 12時30分
気温	13℃ (12時30分)	10℃ (12時00分)	15℃ (12時30分)
気づいたこと	遠くに白いわたぼうしみたいな雲が見えた。風は強い。どんどん天気が変わった。	灰色の、あつい雲に、空全体がおおわれていた。風も冷たかった。	雲は、ほとんどなかった。風もなく、あたたかかった。
明日の予想と理由	左にある雲Aは、2日後に岩手に着くと思う。Aの雲と岩手の間にある空の様子が、明日の岩手の空の様子になるので、明日は晴れると思う。	Aの雲は南の方に移動したから、岩手には来ない。今日の朝鮮半島は晴れているので、明日の岩手は晴れると思う。	朝鮮半島周辺に雲がない。明日の岩手は、とてもいい天気になると思う。

<指導のポイント>

左のような記録用紙を用意し、少なくとも連続5日間は、「観察・記録」させる。

できるだけ休日をはさまないように計画するとよい。

<指導のポイント>

天気によって、1日の気温の変化はどうなるか、意識しながら記録させる。

天気がよいときは、気温が高い

<指導のポイント>

「気づいたこと」には、雲の特徴(色、量、形、厚さ等)について、記録させる。

雲写真：提供「気象庁」

観察手順 参照

観察手順 参照

観察手順 参照